

本資料の内容を本来の目的以外に使用することや、  
当社の許可なくして転載することはご遠慮ください。  
東京電力株式会社

標準規格

## 5 6 Z-7 地中線用鉛銘板および同取付用鉛帯規格

平成 4年 4月 1日

東京電力株式会社

### 目 次

1. 適用範囲 .....	1
2. 引用規格 .....	1
3. 形状、寸法および材質 .....	1
4. 検査 .....	1
4.1 検査の種類 .....	1
4.2 試験項目と方法 .....	1
4.3 合格基準 .....	2
5. 荷造り .....	2
付 図 .....	3

(最終ページ: 3)

5Z-7 地中線用鉛銘板および同取付用鉛帯規格

1. 適用範囲

この規格は、当社の地中電線路のケーブル標識材料として用いられる鉛銘板および同取付用の鉛帯に適用する。

2. 引用規格

JIS H 2105 (鉛地金)

この規格に記載のない事項は、すべて JIS H 2105 (鉛地金) による。

3. 形状、寸法および材質

(1) 材料

鉛銘板および鉛帯は、JIS H 2105 の第 4 種またはこれと同等以上の材料で、その表面は実用上有害なあわ、傷、酸化物のないものを用いる。

(2) 形状・寸法および許容差

a. 鉛銘板の形状・寸法および許容差は付図-1 による。

b. 鉛帯は、特大、大、中および小の 4 種類とし、その形状・寸法および許容差は付図-2 による。

4. 検査

4.1 検査の種類

検査は、型式検査、受入検査の 2 種類とし、原則として製造工場で行う。

(1) 型式検査

型式検査は、製品の構造、性能および品質の確認ならびに納入者の品質維持能力を認定するために行う。

(2) 受入検査

受入検査は、製品受入れに際し、製品品質が受入に適合するか否かを確認するために行う。

4.2 試験項目と方法

試験項目・方法および数量は表-1 による。ただし、当社の判断により検査項目の追加または省略を行うことがある。

表-1

種別	検査項目		試験の方法	試験数量	
	型式	受入		型式	受入
○	○	外観点検	目視・手ざわりなどにより気泡、傷、われめ、酸化物など実用上有害な箇所がないか点検する。	30 枚	全数
○	○	形状・寸法検査	付図-1 に示す各部の寸法を測定する。	30 枚	(注) 抜取り
○	—	材質検査	JIS H 2105 により化学分析試験を行い、化学成分の適否を調べる。ただし、当社が承認した機関の試験成績表で代行することができる。	1 枚	—

(注) 抜取り個数は協議による。

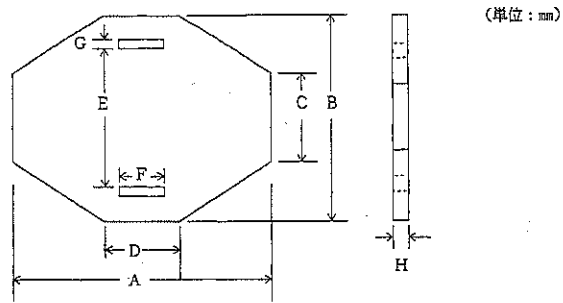
4.3 合格基準

試験した各試料がすべて 3 項 (形状、寸法および材質) に適合した良品と判定される場合、検査合格とする。

5. 荷造り

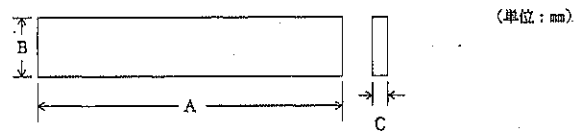
荷造りは鉛銘板 20 枚、鉛帯 50 枚をそれぞれ 1 単位として包装し、包装紙の表面に品名、種類 (鉛帯のみ)、数量および製造者名を明記する。

付図-1 鉛鉛板の形状・寸法および許容差



	A	B	C	D	E	F	G	H
寸法	75	70	40	20	46	17	3	15
許容差	±0.5	±0.5	±0.5	±0.5	±0.5	±0.5	±0.2	±0.1

付図-2 鉛帯の形状・寸法および許容差



		A	B	C
特大鉛帯	寸法	600	15	1.5
	許容差	+ 4	±0.5	±0.2
大鉛帯	寸法	400	15	1.5
	許容差	+ 4	±0.5	±0.2
中鉛帯	寸法	300	15	1.5
	許容差	+ 3	±0.5	±0.2
小鉛帯	寸法	200	15	1.5
	許容差	+ 2	±0.5	±0.2